
会社概要

会社概要



会社名 : 株式会社テクノフレックス

決算期 : 12月決算

代表者名 : 代表取締役社長 前島 岳

事業内容 : 管継手事業、管継手関連事業、金属塑性加工事業及び介護事業

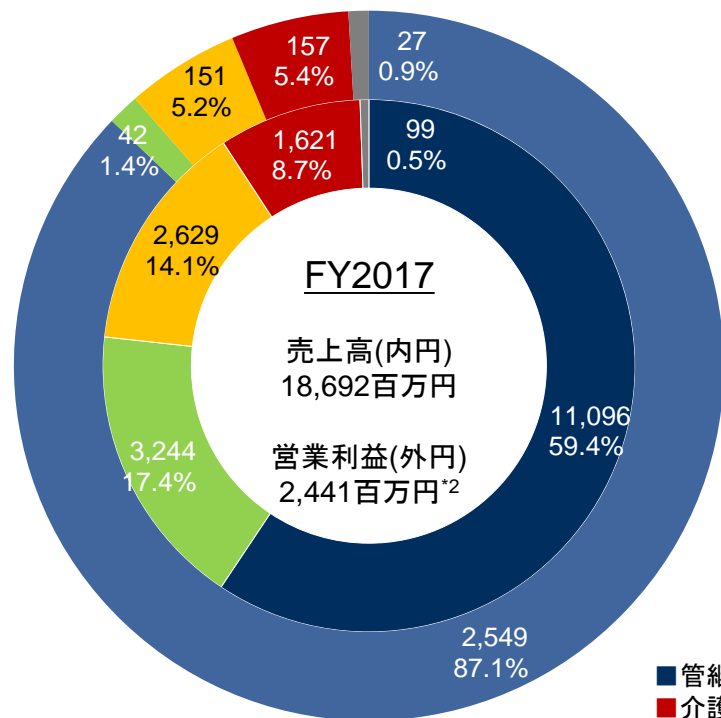
本社所在地 : 東京都台東区蔵前一丁目5番1号

従業員数 : 単体:353名(2019年9月30日現在) 連結:1,023名

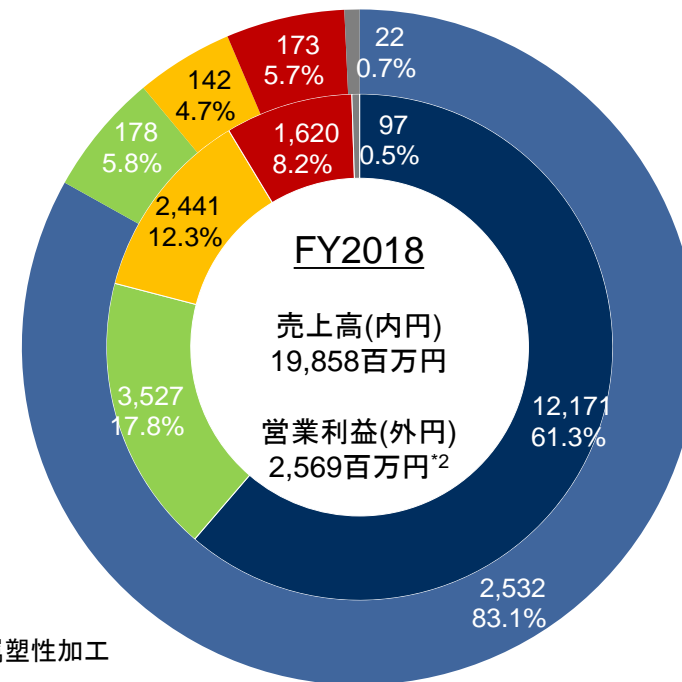
資本金 : 10億円(2019年11月7日現在)

株主構成 : (株)ティーエムアセット59.8%、前島崇志8.9% 他
(2019年11月7日現在 議決権比率ベース)

設立日 : 1977年8月



売上高 +6.2%*1
営業利益 +5.2%*1



■管継手 ■管継手関連 ■金属塑性加工 ■介護 ■その他

*1 対前年度比
*2 セグメント間取引消去や全社費用を考慮した連結財務諸表計上額
*3 円グラフの単位は百万円であり、営業利益は報告セグメントと「その他」の区分に該当する事業セグメントの数値を記載

事業内容 - 管継手事業 -



- フレキシブル継手、伸縮管継手はインフラや産業配管に生じる様々な負荷から機器本体と配管を守るために使用される可撓性を持った継手
- 近年では、耐震化や配管作業の省力化を目的として配管にフレキシブル継手が使用され、人手不足の解消、コスト削減に寄与している
- 設備機器を損傷から守ると共に流体の漏えい等の2次被害を防止。多岐にわたる分野の設備配管に納入

フレキシブル継手 TECHNOFLEX

+海外子会社

2



伸縮管継手 TECHNOFLEX

+海外子会社

3



真空機器用 TECHNOFLEX

+海外子会社

4

5



構造特徴

主に小口径(10~300mm)のパイプを波付け加工(ベローズ)することで柔軟性を持たせ、配管の『変位吸収』『振動吸収』『作業効率化』に役立つ

主に大口径(200~1,500mm)のパイプに波付け加工(ベローズ)して、温度変化による配管の伸縮を吸収する役目を果たす

半導体分野や医療用関連装置など、微細なごみを嫌うクリーンな配管にするための真空配管などに使用

主な納入先

高層ビル設備配管、上水道配管、各種産業配管、都市ガス配管

電力設備、製鉄、石油化学プラント、LNG運搬船等、広範囲な産業設備、水道配管

半導体製造装置・フラットディスプレイメーカー、医療メーカー、食品製造装置メーカー、高純度ガスメーカー

注: 1. 地震変位を吸収したフレキシブル継手 2.横浜市水道局 納入300A SDFフレキ 3.大型石油備蓄タンク ユニバーサル式伸縮管継手 4.クリーン仕様の加工管 5.ヒータージャケット

事業内容 - 管継手関連事業 -

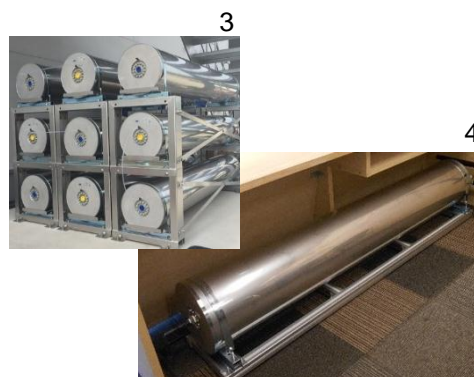


■ 配管を軸に、川下戦略による工事業の参入と配管に付加価値をつけた貯水機能付給水管装置の製品化


消火設備の配管工事 TFエンジニアリング




貯水機能付給水管装置



 中野製作所
水道管及び電柱の切断装置



特徴

スプリンクラー等の消火設備の配管工事を請け負う。現場工数削減のため、工場でプレハブ加工実施。フレキシブル継手も使用される

給水配管に貯水機能を組み込み、空気にふれず滞留しないシステムで常に新鮮な水を供給する。断水時には1本当り120ℓの水を確保

自走しながら配管や電柱を切断。東京都が推進する無電柱化への貢献に期待

主な 納入先

屋内消火栓・スプリンクラー設備
泡消火・連結送水管、消火設備等の
消防施設配管工事業者
冷暖房空調設備配管工事業者

大手ハウスメーカー
BCP目的の法人事業場
一次避難所向けの商業施設

水道及び土木工事事業者
通信建設及び電力工事事業者

注:1.プレハブ加工管 2.消化配管 工事代理人業務 3.マルチアクア9本連結型 4.マルチアクア戸建て住宅用 5.電柱切断機

事業内容 - 金属塑性加工事業、介護事業 -



- ロボティクスの様な産業機器や介護用品を要介護者へ安心の提供
- パイプの塑性加工技術を生かした管継手製品への応用
- 伸縮管以外の部品への展開

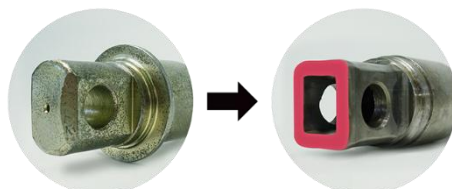
金属塑性加工



1



2



従来製品

パイプ化製品

介護 SpaceCare

3



4



特徴

金属塑性技術を生かして軽量化、材料費の低減及び強度増加を実現

主な 納入先

自動車、工作機械、精密機械、医療器械、建設機械といった
様々な産業分野における部品製造

ケアプランに沿った福祉用具レンタル
福祉用具の販売、バリアフリーなどの工事
介護用マットレスの洗浄

要介護適用対象者、介護福祉施設

注: 1. ロボットアーム 2. 折り紙構造を利用したパイプ 3. オリジナル車椅子 4. マットレス洗浄機

インベストメント・ハイライト

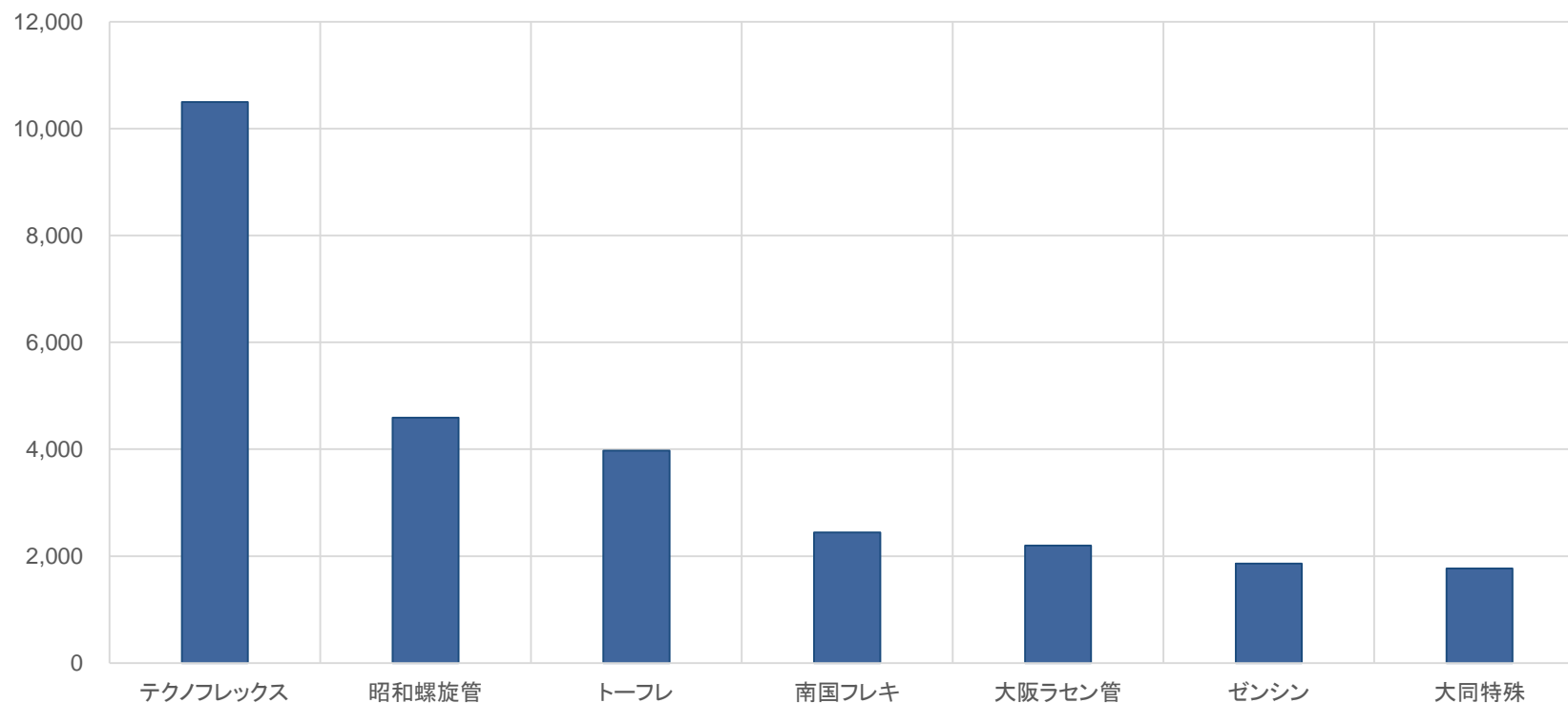
当社の特徴: 取扱い実績No.1



- 当社は顧客からの厚い信頼を集めており、フレキシブル継手と伸縮管継手の同業他社との比較に於いてトップの取扱い実績を誇る

単位: 百万円

同業他社会社別売上(2017年)



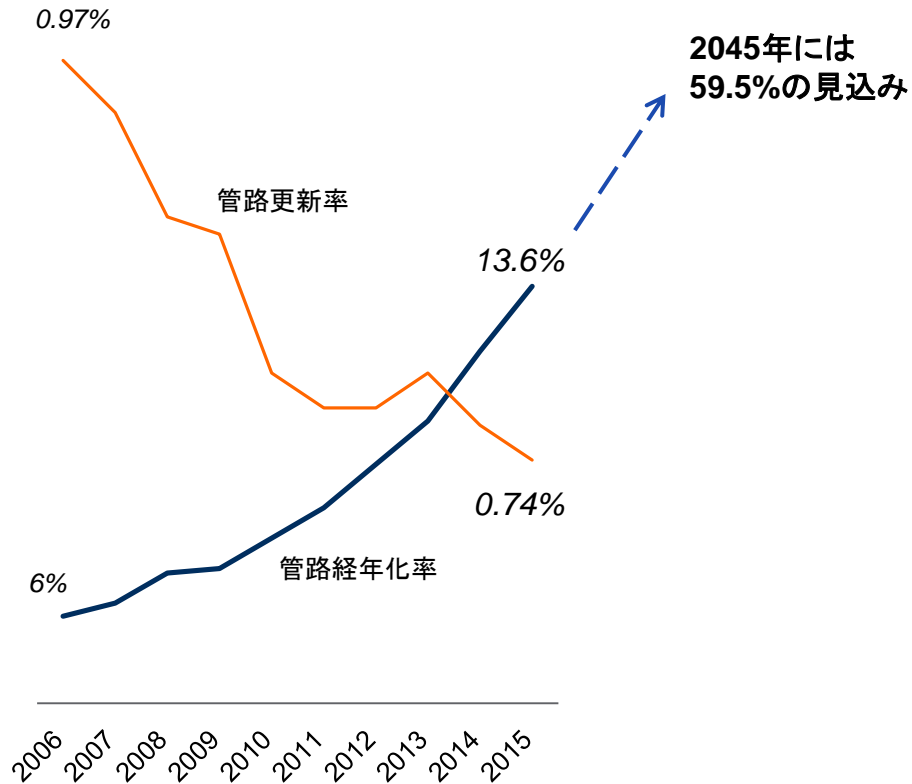
出所: 帝国データバンク

成長戦略:水道管老朽化対策



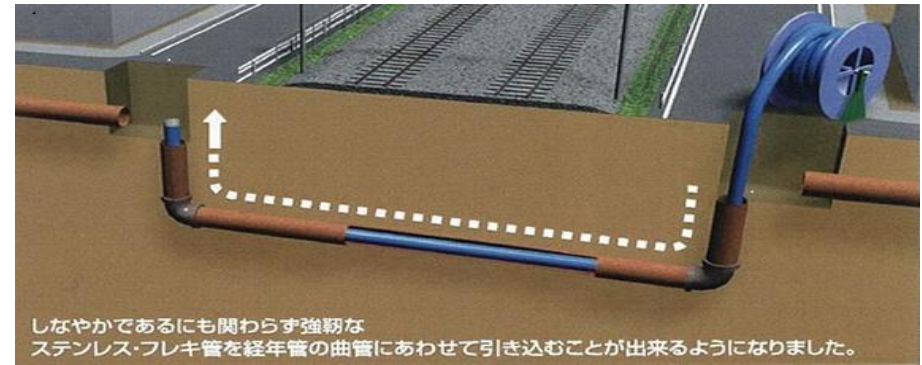
■ 水道管の老朽化が進む中、対策が進んでいない市場をインフラメンテナンス大賞受賞の工法で切り拓く

老朽化は進む一方で、管路更新が進んでいない



SDF工法

管路更新(掘り起こし+再敷設)のコストと時間が削減可能



SDF工法向けにフレキシ管を供給

第1回インフラメンテナンス大賞
(厚生労働大臣賞)



高齢化による防災設備需要の高まりとグローバル人材の活用



高齢化による防災設備の重要性の高まり

(現状)

- ・住宅火災における死者の約7割が65歳以上の高齢者であり、高齢化の進展を反映してその割合は増加傾向にある。
- ・65歳以上の者のいる世帯のうち65歳以上の者の単独世帯及び夫婦のみの世帯が2018年で59.7%を占める。



(今後)

体の不自由な高齢者のいる世帯では火災発生時に、迅速な避難を行うことが難しく、初期消火の成功率が96.2%と高いスプリンクラーの重要性が高まっている。

出所:厚生労働省 平成30年国民生活基礎調査

(参考)

2017年 スプリンクラーヘッド数

米国:45.7百万個 日本2.2百万個

出所: The International Fire Sprinkler Association

当社グループでの職人育成計画(TFベトナムの研修システム)

日本国内における消火設備配管工事及び監督者の人員不足は深刻な問題となっている。

TFエンジニアリングではベトナム国人を教育、育成し、国内の戦力として採用を計画。

2019年 TFベトナム工場内に実習生・エンジニア候補者に対する日本語と実技を研修する施設を設置。

5ヶ月間の研修終了後、合格者を日本のTFグループへ送り込んでいる。

(研修内容と期間)

- ・日本語実習(含む日本の法律・習慣等)3ヶ月
- ・実技実習(含む安全教育)2ヶ月 (合計5ヶ月)

(研修コース・定員数)

- ・日本語入門コース20名
- ・職人コース30名
- ・エンジニアコース15名



日本語実習風景



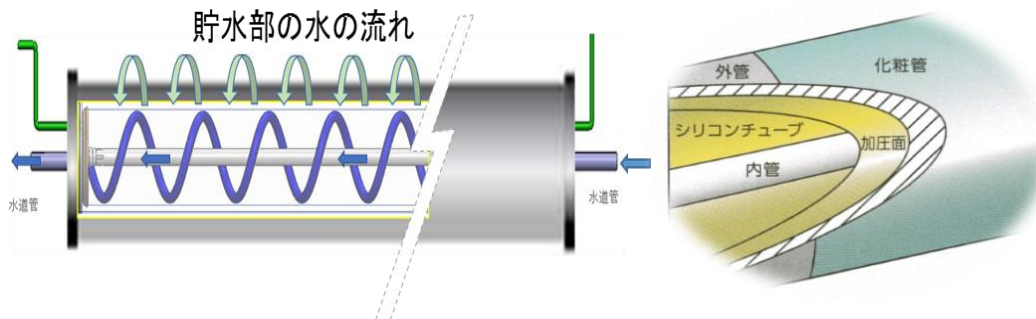
実技実習風景

高い成長ポテンシャルをもつ災害分野



- 大手ハウスメーカーとコラボレーションし、マルチアクアの普及に向けて商談を進めている
- また、帰宅困難者対策やBCPの側面でも導入の余地がある

aquarreserve



- ・水道管に直結し循環する構造のため、断水の瞬間に新鮮な水を貯水します
- ・本体は3層構造で通水取水時とも水質劣化の原因となる空気に触れません

- 設置例 戸建て住宅(下)帰宅困難者受入れ施設設置例(右)



ターゲット

対象市場

住宅関連

17年度新規住宅着工戸建件数42万6369戸^{*1}の市場、上位10社で13万2608戸^{*2}の新規市場が毎年新たに生まれる。パナソニックホームズが先行し、防災住宅へのパッケージ化が進む

帰宅困難者対策

国土強靱化の要件に合致する自動車ディーラーを先行し攻略中。中でもトヨタは都内70店舗に設置見込み^{*3}。その後国内他メーカーや市街地の商業施設へ展開

BCP

全国の事業場(本社、各事業所、工場、研究所)が対象になる。近隣住民へ一次避難所提供を目的としたCSR強化の取り組みも目立つ

*1*2 国土交通省2017年度新設住宅着工戸数

*3 日刊自動車新聞7/10版にて掲載

資本効率の向上により加速する株主還元



資本効率向上の施策

2021年度目標値

ROE 10%以上
(自己資本利益率)

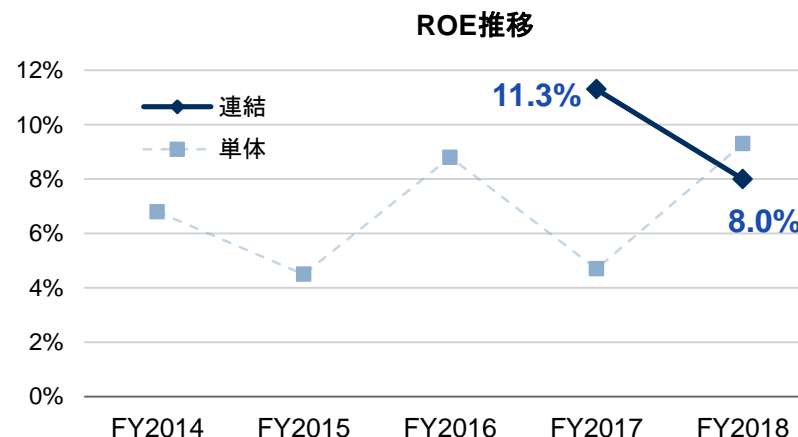
=

EPS
(1株当たり純利益)

- 管継手事業での高い成長性と収益性の継続
- 管継手関連事業を中心とした適切な事業投資

BPS
(1株当たり純資産)

- 配当による株主還元の充実
- 資本構成の最適化

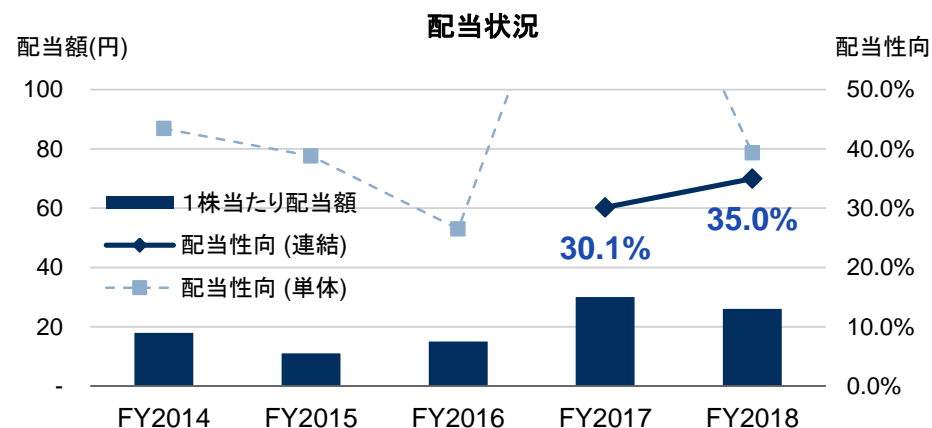


株主還元方針

2021年度目標値

- 引続き安定的な配当を行う

連結配当性向40%以上



*1 連結配当性向は有価証券届出書記載の「1株当たり配当額」を連結の「1株当たり当期純利益」にて除して算出
 *2 2017年度の配当額30円は、創立40周年記念配当3円を含む